



薬師堂と地域の関わりなどの歴史をまとめた「薬師堂資料ノート」



「みんなこいこいフェスティバル」では、九品寺天満宮の子ども神輿も登場



200人以上が参加した「ポイ捨てダメダメキャンペーン」。約1時間通学路を歩き、ゴミ約20袋(45ℓ入り)を集めた



毎年恒例の「校区民運動会」。リレーやムカデ競争、つな引きなどの競技で賑わう



定期的に社会福祉協議会の理事会に集まる校区の役員の方たち

白山校区 (平成25年4月現在)
人口計: 11,319人
世帯数: 5,410世帯
町内自治会数: 11

ます」と白山校区自治会連合会の松岡ひさし会長は言います。地域住民の公民館への思いが表れた一つの例が、国府公民館の新設でした。国府公民館の西村正一館長は、「町内自治会の人たちの募金によって14年間にわたって建設しました。地元のみなさんの熱意と協力で実現したんです」と語ります。

会」や「町内秋祭り」など。中でも岡田町公民館と第6町内自治会が一緒になって作成した冊子「薬師堂資料ノート」は、薬師如来像がまつられている薬師堂の由来や歴史を調査し、まとめたもの。まちの歴史を将来に語り継ぐことで、地域への思いを強くしようと作成されました。いずれも町内の人たちが知恵をしぼり、力を合わせて実現している活動です。

二年前からは、「健康まちづくり」というキーワードで、校区全体を巻き込んだ世代間交流の取り組みが始まっています。白山校区社会福祉協議会の大久保多香会長は「3回シリーズで健康づくりに取り組んでいます。食生活と運動習慣の改善

地域力を発揮する
白山 公民館活動
校区のパワーの基の一つになっているのが、地域で運営する公民館活動です。「地域活動の拠点となり、活力の基になってい

内自治会、消防団のほか、白山通りの商店街メンバー、老人会、婦人会などが校区の美化活動に取り組みます。白山校区青少年健全育成協議会の飯干哲哉会長は「班に分かれ校区の通学路に沿ってゴミ拾いに出かけます。小学生には、活動が終わったあとゴミ分別などを教え、みんな環境を守ることの大切さを学んでいます」と語ります。12月は、白山小学校運動場で同協議会主催による「もちつき大会」。当日はPTA、校区社会福祉協議会、消防団など、多くの人たちが協力。餅つきを体験した子どもたちは、安全な校区づくりに協力している「子ども避難の家」に、自ら餅を届けます。町内ごとの行事も盛んです。例えば、第2町内自治会で行われる「みんなこいこいフェスティバル」。企画、準備、運営など、町内自治会の役員、婦人会、子ども会、おやじの会などが、それぞれ手分けして開催します。バザーやゲーム、抽選会など、趣向を凝らしたイベントの数々に、子どもたちも楽しみにしているそうです。